

米国 原油価格高騰による押上げ続く（08年5月輸入物価）

発表日：2008年6月20日（金）

～製品価格上昇による押上げ圧力も続く～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

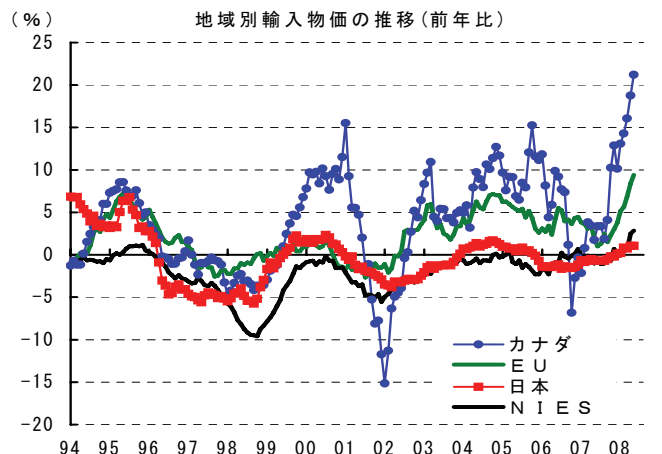
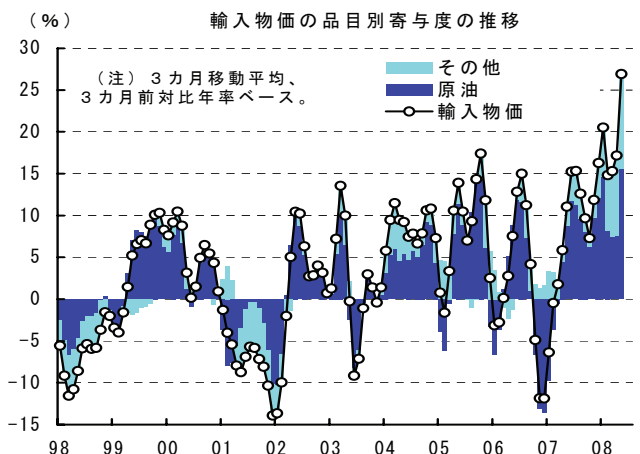
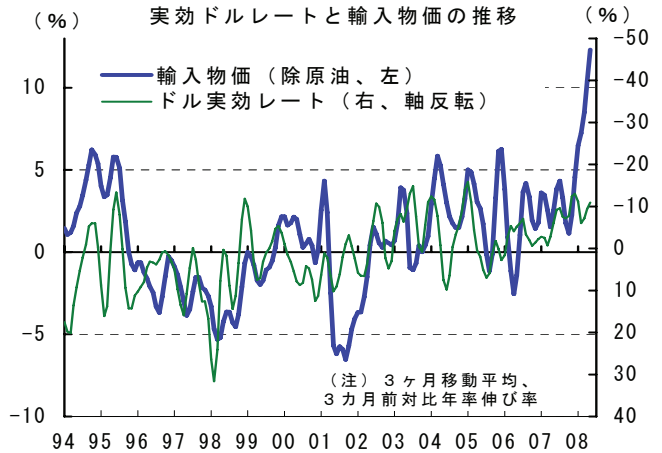
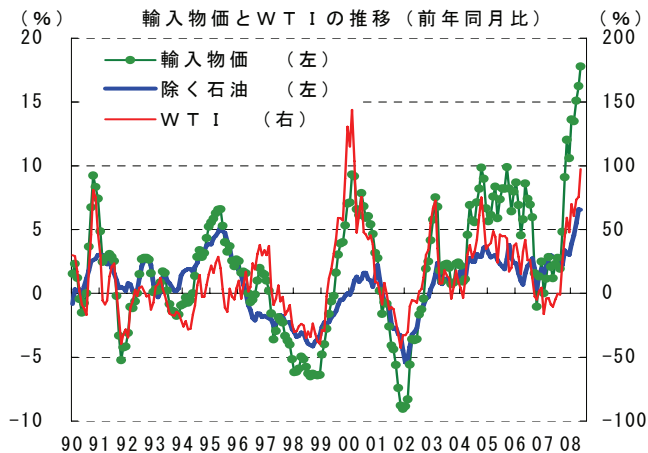
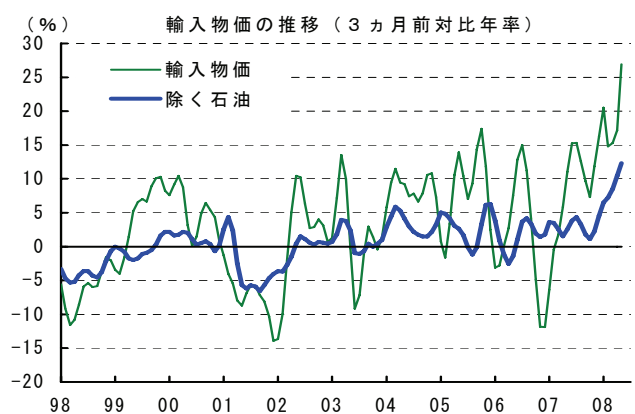
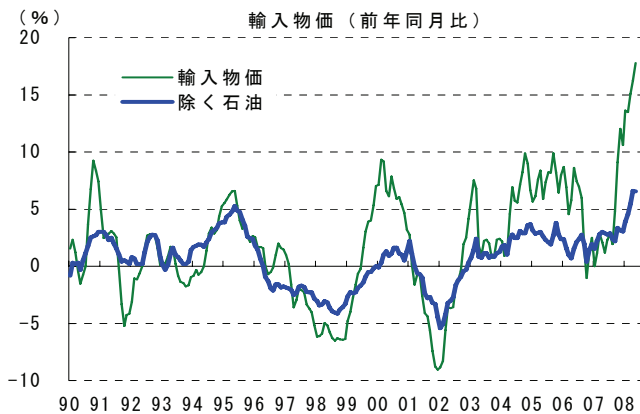
- 08年5月の輸入物価は前月比+2.3%と前月同+2.4%（前月は前月比+1.8%からの改定）から小幅減速に留まった。原油価格、その他エネルギー・資源価格高騰の影響で依然として高い伸びを続けている。前年同月比では+17.8%と、1988年の月次統計発表開始以来最大の伸びが3ヶ月続いている。価格変動の大きい石油を除いた輸入物価は、前月比+0.5%（前年同月比+6.6%）と為替がドル高に振れたこともあり前月の同+1.3%（同+6.6%）から減速したものの、前年同月比では前月に続き統計開始以来最大の伸びとなった。3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率でも、07年10月から石油を除いた輸入物価で加速した。エネルギー、資源価格高騰からそれらを原料とする製品価格に転嫁が進み、輸入物価を押し上げているものとみられる。
- 輸入財の分類別にみると、工業用原料が原油価格の急騰により、前月比+5.3%と前月同+4.8%から加速した。石油・石油製品が前月比+7.8%、石炭・天然ガスが同+4.9%と高い伸びを維持。その他、建材が同+1.6%、耐久財用金属原料が同+2.1%、耐久財用金属が同+2.3%と価格上昇が続いている。資本財では前月比+0.3%と前月同+0.9%から減速したものの、前月比プラスが4ヶ月続いている。輸出国側で原料価格の上昇を製品価格に転嫁する動きが続いているものとみられる。
- 輸入元の地域別では、カナダが前月比+3.1%（前月同+3.9%）、メキシコが同+1.7%（同+2.5%）と前月から鈍化するもエネルギー・資源価格高により高い伸びが続いた。また、EUが同+0.8%（同+1.4%）、日本が同0.0%（同+0.3%）、N I E Sが同+0.2%（同+1.5%）と前月から減速した。対米ドルでドル高に振れたためとみられる。中国は同+0.6%（同+0.4%）と人民元高・ドル安の影響で加速、輸出額に占める原油の割合が高い中東は同+5.6%（同+4.1%）と加速した。
- 新興国需要の拡大と、投機資金の流入により原油価格は上昇を続けており、原油増産計画や代替エネルギー開発が進行しているものの短期的には需給緩和は期待できず、原油価格は高止まりが続くものとみられる。また、原油以外でも新興国の需要拡大により鉱物資源価格が高止まりしており、中間財、最終財に対する価格転嫁が輸出国側で徐々に進むことで、輸入物価に対する押上げ効果が持続すると予想される。米国景気が先行き不透明な状況で、実効レートの本格的な上昇はしばらく期待できず、為替面からの輸入物価押し下げは期待できそうにない。以上のことから輸入物価は、年内は前月比で上昇を続けるとみられる。

輸出入物価 (U.S. Import and Export Price Indexes)

	輸出物価	輸入物価					資本財	自動車	消費財	飲食料	実効ドル レート
		除石油	工業用原料	石油							
07/06	+0.4	+1.2	+0.3	+2.8	+4.8	+0.2	+0.1	+0.1	+0.3	▲0.3	
07/07	+0.1	+1.3	+0.1	+2.9	+6.0	+0.3	+0.1	+0.3	+1.3	▲1.3	
07/08	+0.2	▲0.3	+0.0	▲1.3	▲1.5	+0.2	+0.2	+0.3	+0.5	+0.5	
07/09	+0.3	+0.6	▲0.1	+1.2	+3.1	+0.1	+0.2	+0.1	+1.3	▲1.4	
07/10	+0.8	+1.5	+0.6	+3.4	+5.0	+0.1	+0.4	+0.1	+1.1	▲2.1	
07/11	+0.9	+3.2	+0.7	+7.9	+12.4	+0.1	+0.6	+0.2	+0.2	▲1.4	
07/12	+0.5	▲0.2	+0.4	▲0.7	▲1.8	+0.1	+0.6	+0.2	+0.7	+0.9	
08/01	+1.2	+1.5	+0.7	+3.3	+4.2	▲0.3	+0.3	+0.5	+2.8	▲0.7	
08/02	+0.9	+0.2	+0.6	+0.4	▲1.3	+0.1	+0.1	+0.4	▲0.2	▲0.9	
08/03	+1.6	+3.0	+1.2	+6.9	+9.8	+0.2	+0.2	+0.5	+2.9	▲2.0	
08/04	+0.5	+2.4	+1.3	+4.8	+5.9	+0.9	+0.4	+0.7	+1.3	▲0.3	
08/05	+0.3	+2.3	+0.5	+5.3	+7.8	+0.3	+0.0	+0.2	+1.0	+0.4	

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 未季調、前月比、%。実効レートはFRB算出ベース。



(出所) 米労働省、Reuter EcoWinより当社作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。